



龍ヶ崎の夏の風物詩 約450年続く伝統芸能、地上14mでの妙技をご覧ください 国選択・県指定無形民俗文化財「撞舞（つくまい）」練習開始（6/3）

約450年、地域の力により受け継がれ、龍ヶ崎市の夏の風物詩である国選択・県指定無形民俗文化財「撞舞（つくまい）」の練習が平成30年6月3日（日）からはじまります。

練習開始初日には、舞男を目指している龍ヶ崎市マスコットキャラクター「まいりゅう」も応援に駆け付ける予定です。

「撞舞」とは、高さ14メートルの柱に笛や太鼓の囃子に合わせて暗緑色のたっつけ袴に蛙の面をかぶった「舞男（まいおとこ）」と呼ばれる演者が登り、柱の上で逆立ちや弓を射ったりする伝統芸能です。もともとは、雨乞いや豊作祈願、疫病よけの意味があるといわれています。

練習は6月3日以降、7月22日までの毎週日曜日午後6時頃からは行われます。本番が迫り、練習も回数を重ねると、舞男も気持ちが入り、技に切れが増し、観ている方にも緊張感が伝わってきます。

ぜひ、今年も練習からの応援、取材をよろしくお願いいたします。

■日 時	平成30年6月3日（日） 午後1時から 練習用柱設置 午後4時頃から 練習開始 ※ 6月3日の練習開始時間は柱の設置状況により、時間が前後します ※ 練習は7月22日までの毎週日曜日午後6時頃からは行います
■場 所	龍ヶ崎市役所南側駐車場（所在地：龍ヶ崎市3710）
■その他	今年の撞舞は7月29日（日）の夕刻から開催予定です
■資 料	・練習風景

担当課	龍ヶ崎市 市民生活部 商工観光課 観光物産グループ 担当者： 秋山（あきやま）・森下（もりした） 連絡先： 電話（代表）0297-64-1111 （内線）406
-----	--

【過去の練習風景（2016年撮影）】



【昨年（2017年）の本番風景】

